

教育費の保護者負担の軽減に関する提言書

本議会では、令和6年度に各常任委員会で所管事務の調査を行いました。うち、民生教育常任委員会では、「給食費無償化」と「教育費保護者負担軽減」について、保護者アンケートやヒアリング、先進地調査等を行いました。

日本では、学校教育にかかる経費は設置者負担が原則となっています。東京都杉並区では、令和4年11月から「杉並区立学校における義務教育保護者負担軽減のあり方検討委員会」を設置し、令和5年5月に「杉並区立学校における義務教育保護者負担軽減のあり方について」報告書を公開しています。

他自治体でも同様な検討がなされている例があり、阿見町でも、検討委員会を組織して早急に検討に着手することが望まれます。

保護者アンケートでは、「子育て・教育においては、平等に一律の支援であるべき」、「所得制限はなくすべき」、「税金が累進課税で所得に応じて徴収されながら、こうした教育支援が受けられないことは納得できない」といった意見があり、「所得ではなく、子どもの数に応じた支援をしてほしい」、「使い回しのできる教材等は公費で購入し共有すべき」といった意見も寄せられています。

以上の調査結果を踏まえて、保護者負担軽減を図るために、以下のような項目について見直し検討されることを提言します。

記

1. 財源に限りはあり、全てを公費負担の対象とすることは困難だが、支援する項目を絞って、所得制限を付けない一律の助成を行うことが望ましいと思われる。その中でも、喫緊に公費負担・無償化を行う項目は、子ども1人目から所得制限を付けない給食費の全面無償化である。よって、その実現に努められたい。
2. 給食費のほか、次の項目についても無償化を飛躍的に進める必要がある。よって、その実現に努められたい。

・学用品費	・校外活動費	・学校給食費
・新入学児童生徒学用品費等	・クラブ活動費	・医療費
・通学用品費	・生徒会費	・通学費
・PTA会費	・体育実技用具費	・卒業アルバム代等
・修学旅行費	・オンライン学習通信費	

令和7年3月18日

阿見町長 千葉 繁 様

阿見町議会議長 野口 雅弘

(参考資料)

学用品等の保護者負担の軽減に関するアンケート自由記載から（一部抜粋）

◆指定などを外すことによって軽減されるという意見

- ・上履きや自転車の色を指定なしにして欲しい。
- ・細かい決まりはなくして、普段使いできるものに。
- ・学校指定の体育用品（ジャージ、体操服など）が負担。
- ・体操服として統一しなくても、多様性の観点からも運動しやすい服を自由にきてよいというルールに。
- ・制服は必要なのか疑問。私服制度の中学校もあるそうで、阿見町でも検討していただきたい。
- ・ランドセルでもリュックでもいいとか、制服でも私服でもいいなど、自由に選択できるようにしていただきたい。
- ・ジャージは町内でデザインを小学校、中学校で全て統一していただければ、地区を跨いでお渡しすることも出来るため、お困りの皆さまにも状態の良いお下がりが行き渡ると思います。
- ・学年で色を変えるジャージなどは無意味なのでは。お下がりも頂いても名前の記入が胸にあると着れないなど、プライバシーポリシーの強い現代には向かない。
- ・指定学校制服、靴不要、指定自転車不要。自由にするべき。
- ・通学自転車に関する事が不明ですが、第一子（現大学生）の時は割と厳しく自転車のギアの決まりがあり自転車の購入代金が6万円を超えたので家計的にも大変でした。6段と3段ギアでは金額差もだいぶあったと記憶しています。高校まで使う方もいれば、中学校までしか使わない方もいるので、できれば普通の自転車も選択肢に入れて欲しいです。

◆学用品の品質に関する事

- ・体操着が高すぎ。値段の割に質が悪い。

◆部活動に関する事

- ・部活動における備品購入が多すぎる。

◆教育内容に関する事

- ・塾に行かなくてもお勉強が出来るように教育してもらいたい。
- ・誰でも使っているだけで学力が上がる、完全に活用できる、AI搭載型の問題を解く機能をつけてほしい。
- ・デジタル端末一人1台は、学力低下にしかならない。どうしてもというなら、学習以外には全く使えないものにし、尚且つ塾がいらなくなる位の、正誤データを蓄積し、苦手分野が苦手でなくなる類題を強制的に解かせ、全体として少しずつ基礎学力の底があがるような、AI搭載の、記述式に完全対応した機能をつけてほしい。

◆個人購入から学校備品へとすることに関すること

- ・小学校入学時に買う算数セットは、備品にしてもいいのではと思います。お名前付けも負担です。
- ・小学校の時にしか使わない物など、例えばピアノカ、吹き口のみ個人購入で、本体は学校貸し出しにしてもらえると、その後の保管や処分の負担が減ると思う。本体も欲しい方は、全て購入など選べると良い。
- ・さんすうセットを学校備品にして欲しい。低学年でしか使わないし、使用後でもほぼ美品であり、もったいないと感じる。学校予算がないのであれば、寄付を募れば必要な数は数年で集まるのではないか。

◆学用品のリサイクルシステムに関すること

- ・中古でも良いので譲渡または安価に購入できるシステムを作ってほしい。
- ・ジャージは町内でデザインを小学校、中学校で全て統一してくだされば、地区を跨いでお渡しすることも出来るため、お困りの皆さまにも状態の良いお下がりが行き渡ると思います。(再掲)
- ・学年で色を変えるジャージなどは無意味なのでは。お下がりを受けても名前の記入が胸にあると着れないなど、プライバシーポリシーの強い現代には向かない。(再掲)
- ・ジャージ 制服のリユース お下がり制度などを使って、あるものを回す仕組みがあれば活用したい。

◆卒業アルバムに関すること

- ・卒業アルバムもいまは本にせず、ネットで完結している学校が増えている。
- ・卒業アルバムも高すぎる。中学と小学校で6,000円も差があって、小学校が高すぎます。

◆通学用自転車に関すること

- ・自転車は町から支援して欲しい。
- ・通学自転車に関する事が不明ですが、第一子(現大学生)の時は割と厳しく自転車のギアの決まりがあり自転車の購入代金が6万円を超えたので家計的にも大変でした。6段と3段ギアでは金額差もだいぶあったと記憶しています。高校まで使う方もいれば、中学校までしか使わない方もいるので、できれば普通の自転車も選択肢に入れて欲しいです。(再掲)

◆その他に関すること

- ・毎日持参し持ち帰りするノート型パソコンを軽量のタブレットにしていただけると子どもの身体への負担が軽減されます。
- ・様々な振り込み手数料が負担に感じる。
- ・修学旅行費が高すぎる。